



# 知育全体計画

令和4年度

(確かな学力向上全体計画)

志布志市立通山小学校

## 鹿児島県教育行政基本目標

「未来を拓く鹿児島の人づくり」

ふるさとを大切に、世界へはばたく人材を育成する～ひつとべ鹿児島の教育

## 志布志市学校教育重点項目

- ・学力の向上・定着
- ・幼保小の円滑な接続
- ・小中一貫教育の研究
- ・キャリア教育の推進
- ・志学教室、夏休み学習教室
- ・ICTの積極的活用

## 学校教育目標

人間性豊かで創造性に富み、心身ともにたくましい児童を育てる

かしこく・・・よく考え進んで学ぶ子ども  
 やさしく・・・明るく思いやりのある子ども  
 きょうりよく・・・健康で最後までやり抜く子ども

## 目指す子ども像

- ・リズムよく音読ができる。
- ・よく考え、発表したり聞いたりできる。
- ・家庭学習を頑張ることができる。

## 知育に関する学校経営方針

「生きる力」を育むことを目指し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導形態・指導法で授業を行う。また、全ての教育活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能の習得、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力を育む。

## 【各教科の指導を行うに当たって】

- ◎ 人間尊重及び特別支援教育の考えに則った授業実践を行う。
- ◎ 学力検査分析、実態把握による個に応じた指導の工夫を行う。
- ◎ 少人数・TT指導を協働態勢で行う。
- ◎ 教材研究を行い、教科の特性を生かした指導を行う。
- ★ 基礎・基本の学力の定着を図る。
- \* 個々の**期待点**を設定し、取組の結果として、達成させる。
- 期待点=80点×ES÷50**

## 【総合的な学習の時間の目標】

豊かな感性をもち、学び固や者の考え方を身につけ、主体的に取り組むことで、生きる力を育み、学ぶことの喜びを実感できる子どもを育てること

## 【生徒指導の目標】

- 教師と児童及び児童相互の心の触れ合いを通して、児童一人一人の情操を高める。
- 望ましい生活習慣の形成を図り、集団生活における基本的な生活習慣を身につけさせる。

## 本校における「確かな学力」

- **よりよく生きていくための豊かな人間性や社会性**
  - ・コミュニケーション能力 ・豊かな言語感覚 ・あいさつ
  - ・感動する心 ・思いやりの心 ・情緒の安定 ・敬虔
  - ・公共心 ・対人関係のバランス ・自信 (健全な自尊心)
- **学ぶ力・生きる力**
  - ・基礎基本の学力 (読み・書・算をはじめ各教科内容)
  - ・学ぶ意欲 (向学心) ・表現力・発表力
  - ・自ら学び考える力 ・主体的な判断と問題解決能力
  - ・読書の習慣 ・学び方 ・学習のしつけ
- \* **確かな学力を支えるもの**
  - ・基本的な生活習慣の確立 (早寝・早起き・朝ご飯)
  - ・家庭学習習慣の確立 (60・90運動)
  - ・健康の保持増進と体力の向上 (外遊び)

## 【道徳教育の指導の重点目標】

児童自ら、道徳的価値の自覚を深め、日常生活の中で道徳的実践ができる人間性豊かな児童を育てる。

- 1 健康や安全に気を付け、身の回りを整え、規則正しい生活をする子
- 2 身近な人に思いやりの心で接し、親切にする子
- 3 生命の尊さを知り、生命を大切に思う子
- 4 誰に対しても平等に接し、正義を重んじる子

## 【特別活動の指導の目標】

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てると共に、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

## 【キャリア教育の目標】

- ・自己及び他者への積極的関心を形成し、発展させる。
- ・身の回りの仕事や環境への関心・意欲を向上させる。
- ・夢や希望、憧れる自己イメージを獲得させる。
- ・勤労を重んじ、目標に向かって努力する態度を形成させる。

## アクションプラン

## 通山小の学力向上に向けた取組

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研修・研究の工夫	学習評価の工夫	地域・家庭との連携
◎ 人間尊重の視点・特別支援教育の観点に立った個に応じた指導を行う。*1 ◎ 「基本的学習のしつけ」を身につけさせる。*2 ◎ 音読指導の充実*3 ◎ 分かる授業を行う。*4 ・大隅期末ベーシックの実践 ・「アシストシート」「よか問」等による学力の向上 ・教材教具(ICT)の効果的活用 ・「身に付けたい力」の徹底*5 ・「国語力」言語活動の充実	◎ 子どもの理解に応じて <b>少人数指導及びTT指導</b> を行う。 ◎ 特別支援学級の開設によるきめ細かな指導を行う。 ◎ 学習に関するPC教育コンテンツやデータを整理し、全ての学級からアクセスできる環境を構築し、活用する。 ◎ 学業指導・学習指導に関する内容を実践する。 ◎ 学力向上・家庭学習強調週間を計画的に実施する。	◎ 職員の連携・協働による「生きてはたらく研修」を行う。 ☆研究テーマ「 <b>主体的にコミュニケーションを図る子どもの育成</b> 」～外国語活動・外国語科の学習を通して～ ◎ 研究授業を通して、指導方法を学ぶ。 ◎ 自らの専門性を高めるための <b>個人研修を推進</b> する。 ◎ 幼小中連携を推進し、情報交換・合同研修を推進する。 ◎ 研究会や研究公開に計画的に参加し職員に還元する。	◎ 児童一人一人のよい点や進捗状況を知るための評価(単元テスト等)を行い、指導に生かす。(間違い直しを必ずさせる) ◎ 下記の評価検査等を使い、標準化された評価を行い、指導に生かす。 ・NRT*6・県学習定着度調査・全国学力学習状況調査・知能検査・体力運動能力調査 ◎ 授業中における自己評価・相互評価活動を積極的に行い、自他を認める心を培う。	◎ 「ほめて伸ばす教育」を家庭・地域と連携して行う。 ◎ 「早起き・早寝・朝ご飯」運動の啓発に努める。 ◎ 家庭学習の手引き*7を活用し、家庭と連携して家庭学習の習慣化を図る。また、ノーマディアデーを設定する。 ◎ 親子読書を推進する。 ◎ 市や地区の学力向上の取組に積極的に参加協力する。 ◎ 授業参観や学校行事を「子どもの良さを伝える」観点で行う。

## 表中の注釈

- \*1 ; 授業チェック表 (人権教育資料あだん P7)
- \*2 ; 教育課程に掲載 「基本的な学習のしつけ」 ☆「音読」「考える」「発表する」力の育成☆
- \*3 ; 授業で教科書を1回は読む
- \*4 ; 授業の終末を大切に、家庭学習につなげる。「まとめ→練習習熟→家庭学習」
- \*5 ; 計画的な指導で達成させる。教育課程掲載
- \*6 ; 平成27年度からNRT検査実施、(H26まではCRT)
- \*7 ; 机に向かう習慣をつけさせる。教育課程掲載

## 【ほめて伸ばす】

- 能力ではなく、努力をさせ、努力の過程をほめる。
- 善い行いを言ったらほめる。
- 善い行いができたらほめる。

# 自信

- ・自分を信じる心
- ・やればできるという意欲と向上心
- ・周りの人から認められているという心の支え